



第18回
書道パフォーマンス甲子園
本戦出場校
-演技順-

- 岐阜 岐阜高等学校
- 青森 八戸東高等学校
- 愛知 愛知商業高等学校
- 埼玉 本庄東高等学校
- 鹿児島 鹿児島実業高等学校
- 群馬 伊勢崎清明高等学校
- 鳥取 鳥取城北高等学校
- 千葉 八千代松陰高等学校
- 福岡 大牟田北高等学校
- 兵庫 兵庫高等学校
- 愛媛 西条高等学校
- 兵庫 須磨東高等学校
- 香川 高松西高等学校
- 埼玉 早稲田大学本庄高等学院
- 茨城 水戸葵陵高等学校
- 広島 五日市高等学校
- 福岡 八幡中央高等学校
- 宮城 仙台育英学園高等学校
- 香川 高松商業高等学校
- 大阪 上宮高等学校
- 長野 松本蟻ヶ崎高等学校

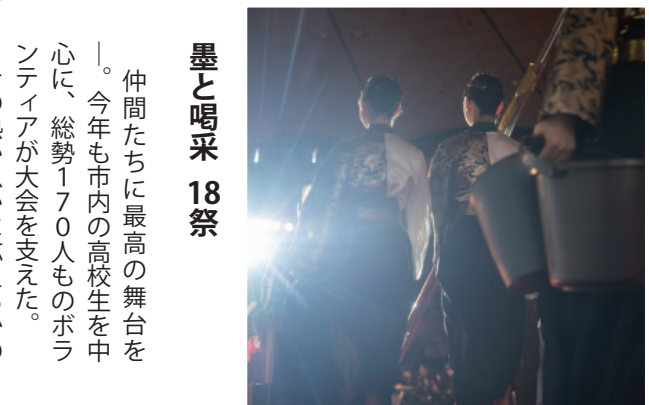
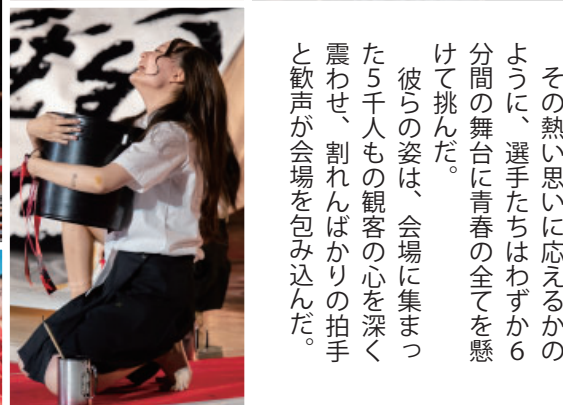


高校生たちの「墨と涙と笑顔」が輝いた青春群像劇。そのハイライトをお届けする。

高校書道部の頂点と、大阪・関西万博で開催される「書道パフォーマンス甲子園 in EXPO」への出場を懸けて、熱い戦いを繰り広げた。激戦を制し、見事優勝の栄冠に輝いたのは、水戸葵陵高校（茨城）だ。終戦80年という節目の年に、「命の尊厳」を書とダンスで見事に表現した。7回目の本戦出場で初めて掴んだ日本一の栄光に、部員たちは涙を流しながら喜びを分かち合った。

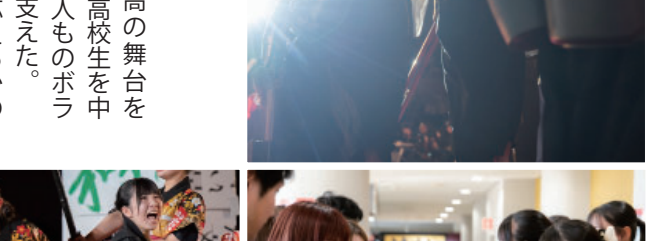
7月27日、伊予三島運動公園体育館で「第18回書道パフォーマンス甲子園」本戦が開催された。厳しい予選を勝ち抜き、憧れの舞台に降り立った21校は、

墨と涙と笑顔の祭典
堂々のフィナーレ



墨と喝采 18 祭

仲間たちに最高の舞台を。今年も市内の高校生を中心に、総勢170人ものボランティアが大会を支えた。その熱い思いに応えるかのように、選手たちはわずか6分間の舞台に青春の全てを懸けて挑んだ。彼らの姿は、会場に集まった5千人もの観客の心を深く震わせ、割れんばかりの拍手と歓声が会場を包み込んだ。



感動は終わらない

観客に感動を与えた21作品は、9月15日まで市内各所に展示されている。大会グッズがもらえるスタンブラリーも実施中だ。エンドロールが終わるその瞬間まで、書道パフォーマンス甲子園から目を離さないでほしい。

書道パフォーマンス
甲子園振興室
☎ 0896-28-6037

